

ヤクルトのSDGsアクション

SDGs(持続可能な開発目標)って何？

今、地球は経済や社会、環境の面でさまざまな課題を抱えています。現在のまま人口増加・消費が進むと、2030年には地球が2つ必要になるといわれています。

2015年9月に国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、地球の限界を超えないよう、また、貧困をなくし、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すものです。2030年までに達成すべき17の目標と、それらを実現するための具体的な169のターゲットを設定しています。

SDGs達成のためには、各国・地域の政府だけでなく企業、市民社会などが協力することが不可欠です。



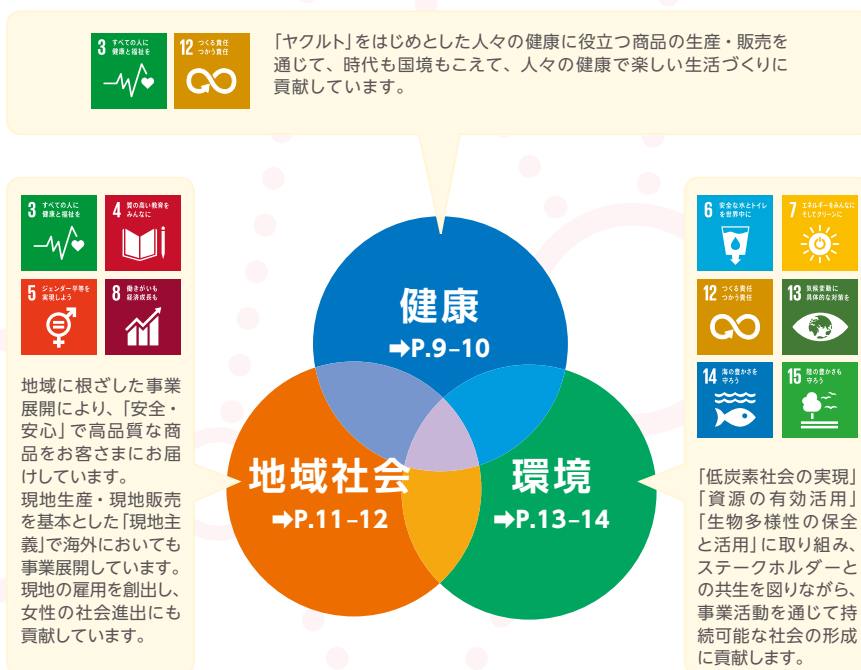
特にヤクルトグループと関係が深い目標 **3 5 8 12 13**

ヤクルトのCSR重点3領域とSDGsとの関わり

ヤクルトグループは企業理念において、事業活動を通じ「世界の人々の健康に貢献する」ことを目指しています。また、人が健康であるためには、人だけではなく周りの水、土壌、大気などすべての地球環境、動植物が健康でなければならないと考え「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンとして制定しています。さらに「地域社会の問題解決に貢献すること」「地域社会からの『信頼』を築きあげること」を事業活動のベースにおいてきました。

これらのことから、「健康」「地域社会」「環境」をCSR重点3領域としています。

CSR重点3領域とSDGsの各目標との関わりは右の図のとおりです。



TOPIC 第2回ジャパンSDGsアワード特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞

2018年12月、ヤクルト本社は第2回「ジャパンSDGsアワード」で特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。乳酸菌飲料の生産・販売を通じ、長きにわたり世界各地で人々の健康的な生活の実現に貢献していることや、ヤクルトレディによる宅配を、健康情報の提供等を行いながら商品をお届けする日本発のモデルとして海外へ展開し、健康で楽しい生活づくり、健康意識の向上、ひいては海外の就労や女性の活躍等にも貢献していることが評価されました。

こんな取り組みでSDGsの達成に貢献しています！

「出前授業」と「健康教室」で健康で楽しい生活を応援

貢献するSDGs



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

ヤクルト本社の支店や各地域の販売会社の社員が小学校などに出向き、腸の大切さや「いいウンチ」を出すための生活習慣について、模型などを活用して、わかりやすく説明する「出前授業」を行っています。

大人向けには、各地域の販売会社社員等が講師となり、センター(ヤクルトレディの販売拠点)や公共施設等を利用して、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等、幅広いテーマで「健康教室」を開催しています。



出前授業
(奈良ヤクルト販売)



健康教室
(ブラジルヤクルト)

世界各地で活躍するヤクルトレディ

貢献するSDGs



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

ヤクルトといえば、商品を自宅や勤務先に届けてくれる「ヤクルトレディ」。1963年にスタートしたこの独自のシステムは、海外にも広がり、事業を拡大する大きな原動力になっています。

女性の社会進出が進んでいない地域においても、きめ細かなフォローで就労を後押し。各地で、イキイキと働くヤクルトレディの姿が見られます。



ヤクルトレディ(メキシコヤクルト)

プラスチック資源循環に向けた容器包装の工夫

貢献するSDGs



持続可能な消費と生産のパターンを確保する

海洋プラスチックごみ、温暖化、資源の枯渇などが世界的な問題になっています。そこでヤクルトでは、プラスチック容器包装の資源循環を推進する取り組みを行っています。

2019年1月には、「プラスチック資源循環アクション宣言」を発表。2025年までに、環境に配慮した容器包装の基礎技術を確認して植物由来の成分や分解されやすい素材への置き換えに着手し、2030年までに、最大限の置き換えを図ることを目指しています。



軽量化したPET容器を採用した商品

厚みを減らしたプラスチックラベルを採用した商品

生産におけるCO₂削減を推進。太陽光発電も

貢献するSDGs



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

本社工場やボトリング会社では、環境に配慮した設備の導入や、照明のLED化、効率の良い生産などでCO₂削減を推進しています。クリーンで再生可能なエネルギーである太陽光発電も積極的に取り入れています。

さらに、毎年5月に工場など全国14か所で植樹活動を実施しています。



工場屋上に設置された太陽光発電
(岡山和気ヤクルト工場)



植樹活動
(兵庫三木工場)